

「没頭する子ども」～好奇心が芽生える授業の創造～

「授業は学びの入り口」 昨年度の公開授業研究会で石井英真先生から学んだ言葉です。授業が終わった後、休み時間に子どもたちが集まって授業の続きを話し合う子どもたち。家に帰ってから、自分で調べて次の日にクラスで発表する子ども。そんな姿をもとめて、私たちがめざすのは、もっと「たい！」が生まれる授業、学びが広がる授業、知的な好奇心が芽生える授業、子どもの「学び越え」が起こる授業。そのためには、私たちも学びに没頭しないといけません。「没頭する子ども」を研究テーマに据えて迎える1年目の今年。子どもも先生も「学びに没頭する」授業をめざします。



参加申し込み

受付	吹奏楽部演奏会	全学級授業	提案授業	分科会	全体会
12:00～	12:15～12:25	12:35～13:20 (各学級・特別教室) 【本校保護者】【教育関係者】	13:30～14:15 2年生(体育) 3年生(算数) 4年生(国語) 5年生(社会) 6年生(英語) 【教育関係者のみ】	14:30～15:15 体育科(2年) 算数科(3年) 国語科(4年) 社会科(5年) 英語科(6年) 【教育関係者のみ】	15:25～17:00 研究概要・教育講演会 講演テーマ 「学びに没頭する子ども」

全体会 教育講演会

京都大学 准教授
石井 英真 先生



日本学術振興会特別研究員(PD)、京都大学大学院教育学研究科助教、神戸松蔭女子学院大学、人間科学部専任講師を経て2012年より現職。専攻は教育方法学(学力論)。

著書に『未来の学校』(単著、日本標準、2020年)、『再増補版・現代アメリカにおける学力形成論の展開』(単著、東信堂、2020年)、『授業づくりの深め方』(単著、ミネルヴァ書房、2020年)など。



(70周年記念キャラクター)



提案授業

5本の提案授業を公開します。教材や題材の世界に子どもが没入し、子どもの言葉で学びを広げ、深める授業の在り方を提案します。

提案授業 分科会

子どもが学びに没頭するための授業の展開について、子どもの姿からともに学びましょう！

今年は英語の授業を公開します。本校では、英語リーダーが1年生から6年生まで、全ての学年の英語の授業に関わり、学級担任と連携しながら、系統的な授業づくりに取り組んでいます。主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを感じながら、学びの世界を広げようとする子どもたちの姿をご覧ください。

あったかくて たのしい だいすきな学校

いしばし学園池田市立石橋小学校
令和5年12月1日(金) 公開研究会 一次案内